

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 634 号	氏名	矢 蔦 弘 之
学位審査委員		主 査	吉浦 孝一郎
		副 査	永安 武
		副 査	江口 晋
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、Peutz-Jeghers 症候群 (PJS) 患者に認められる小腸ポリープと大腸ポリープの narrow band imaging (NBI) 拡大内視鏡法による血管分類と病理学的検査を同時に行い、NBI の有用性を示すことを第一の目的とした。同時に、PJS の原因遺伝子である serine/threonine kinase 11 (<i>STK11</i>) 遺伝子の変異解析を第二の目的とした。目的は、十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 NBI 拡大内視鏡法での過誤腫所見と病理学検査による確定結果を対応させ検討しており、研究手法は妥当である。<i>STK11</i> 遺伝子の変異解析は、3 家系を対象に PCR 直接塩基配列決定を行い、既存の変異との比較検討を行っており研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、NBI 拡大内視鏡法での過誤腫の判断が信頼出来ることを明らかにした。<i>STK11</i> 遺伝子の変異解析によって、3 家系中の 2 家系において変異を同定した。得られた結果の考察も十分に妥当で合理的であった。 今後の消化管腫瘍の画像診断研究および分子遺伝学的研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は消化管腫瘍研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			